



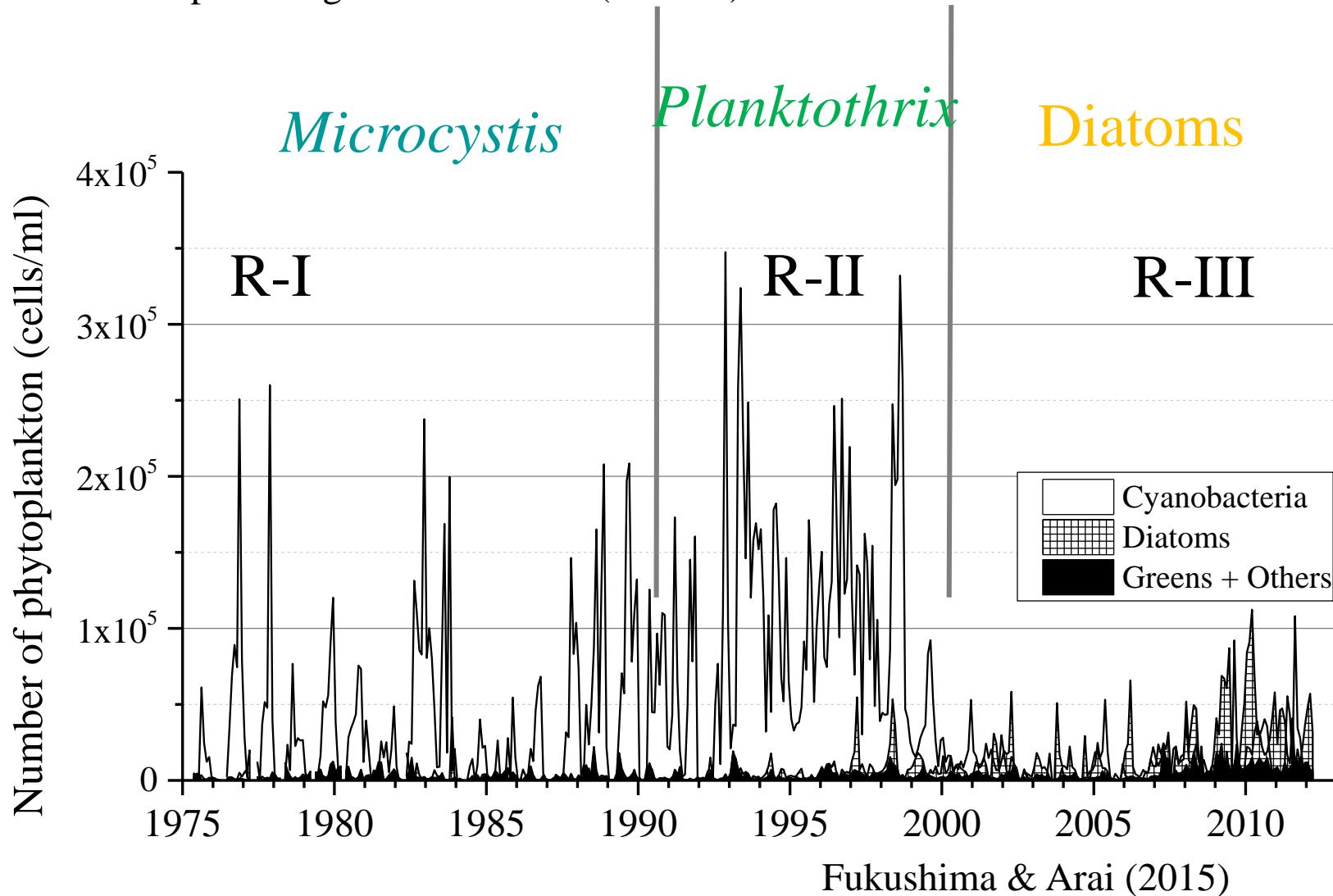
# 湖沼水環境の将来を考える

福島武彦(霞ヶ浦環境科学センター)



# 藻類経年変化(3時期に): 湖心

Fig. 4 (1) Change in phytoplankton numbers at St. 1 (center of Nishiura). Proposed regimes are shown (see text).

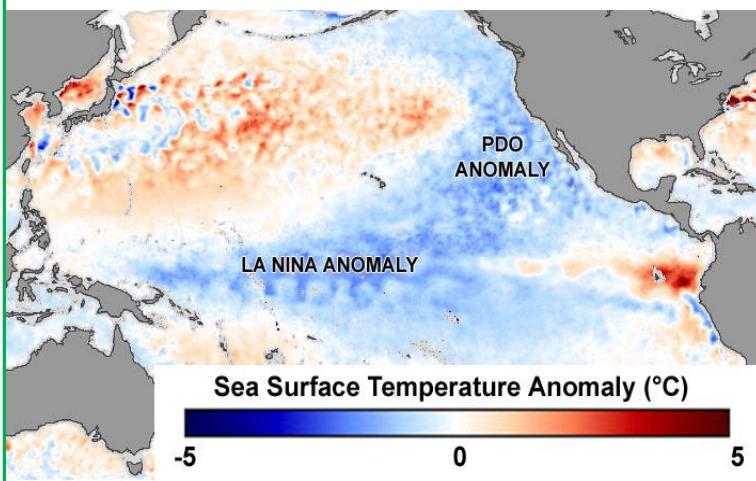


# Climate index and air temperature

Climate indices: ENSO, AO, NAO,  
PDO,,,

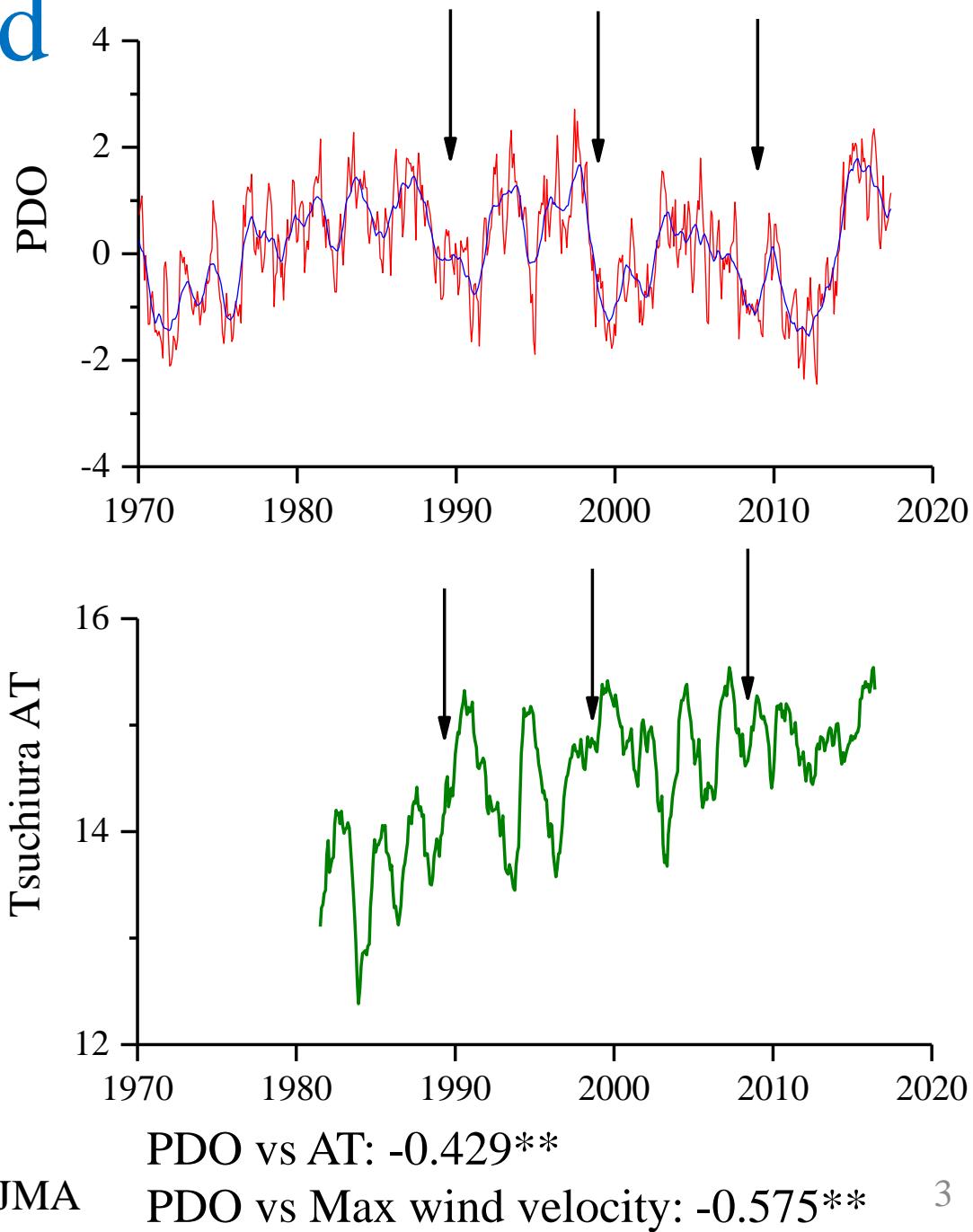
In our region, PDO may be the most  
influential on lake environment.

**In the case of  $\text{PDO} < 0$ ,  $\text{ENSO} < 0$**



WT increase in the sea near Japan,  
then AT increase in Japan  
AT & WT decrease in western US

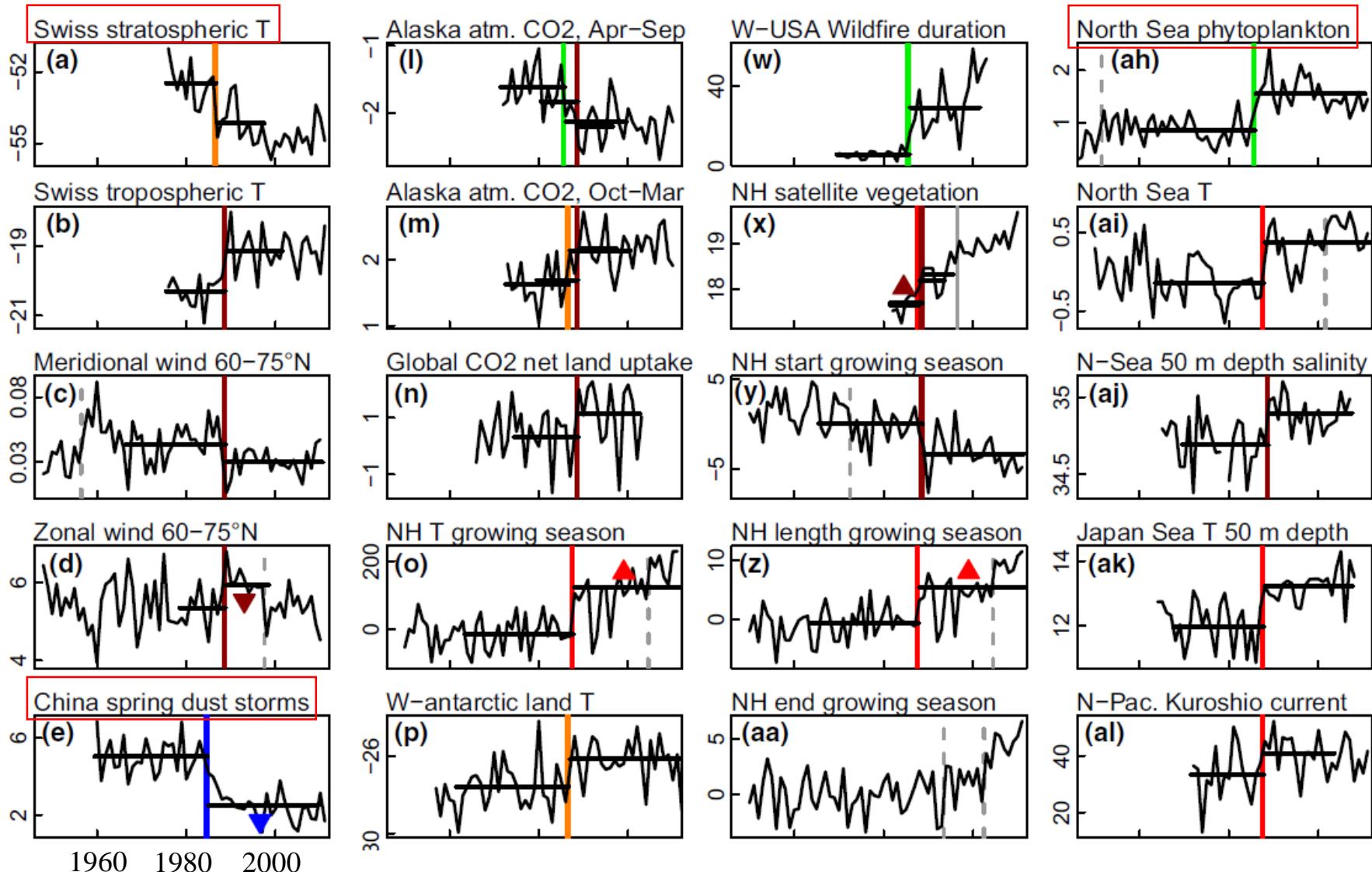
by NASA



by JMA

# The possibility of global impacts on L. Kasumigaura RSs

Reid et al. (2015)  
72 time series



# 非回帰型？のレジームシフト

- 1985-1991年 大気から深海、北極から南極(気象変数、氷結面積、漁獲、開花時期、...)、気候変動(気温上昇)と火山活動影響(El Chichonは1982; but Pinatuboは1991)からの回復 Reid et al. (2015)

ヨーロッパの20湖沼 表面水温のシフト的上昇は気温のシフト的上昇に対応、特に春(5月) Woolway et al. (2017)

- 1997-1998年 五大湖の水温上昇、氷結面積減少、*Cyclotella sp.*比率の増加 PDO指数が正から負へ変化 Zhong et al. (2016)、Cleave et al. (2014)、Reavie et al. (2017)

Lake Mendota 氷結期間等 1997-1998年暖冬(エルニーニョ) Magee et al. (2016)

- 1989-1990年、1999-2000年 霞ヶ浦水質レジームシフト PDO指数極小時 寒い期間から暖かい期間に移るとき Fukushima & Arai (2015)

# 地球温暖化の湖沼環境に及ぼす影響



多降水:流入負荷の増加

小降水:混合低下、滞留時間増加

降雪量の変化:季節パターン変化

氷厚や氷下光環境変化

海水面上昇による海水の侵入

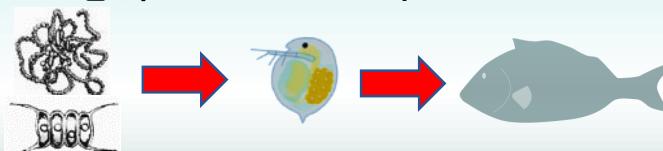


生物生産量・卓越種の変化

生物フェノロジーの変化

生物多様性の減少

生態系サービスの低下



成層の強化、躍層下での貧酸素化、底泥からの溶出

福島 (2016)

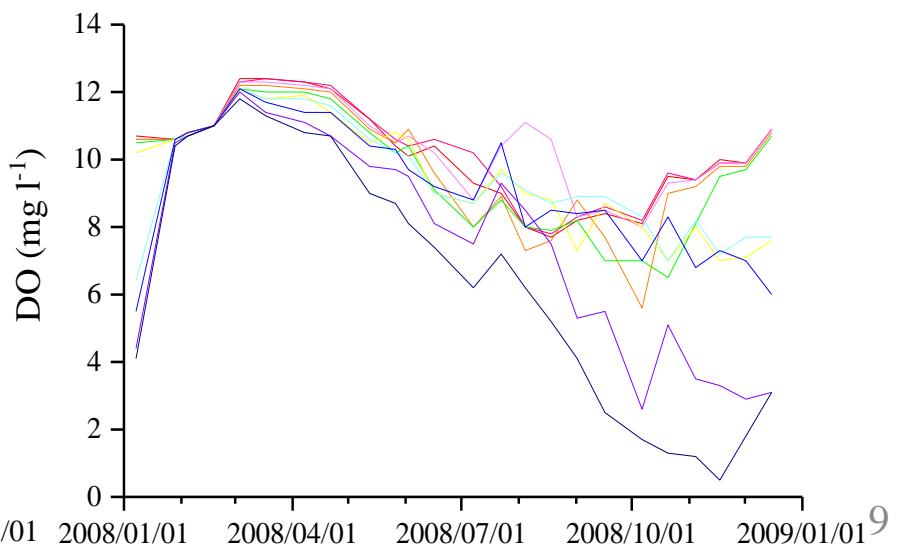
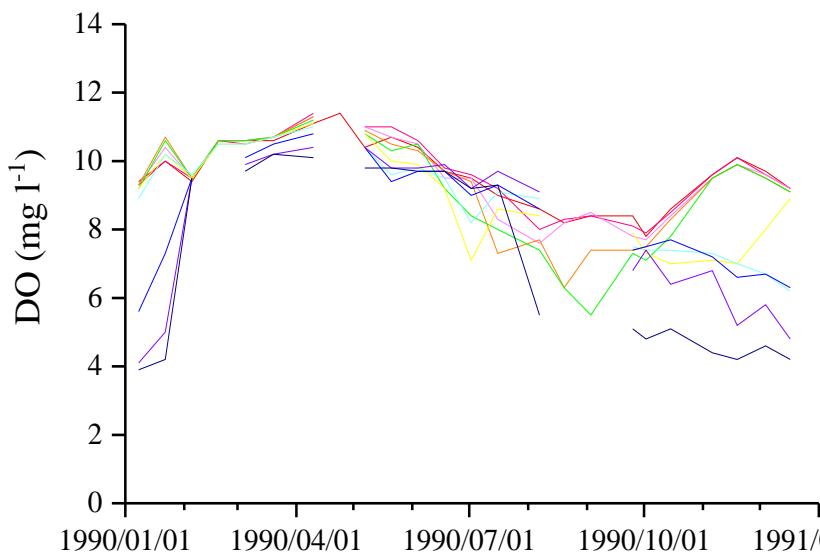
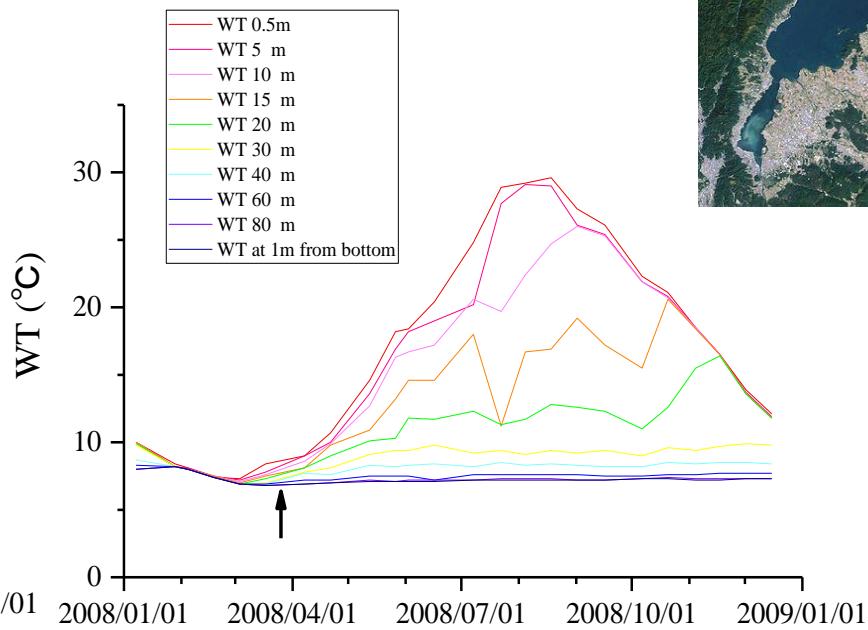
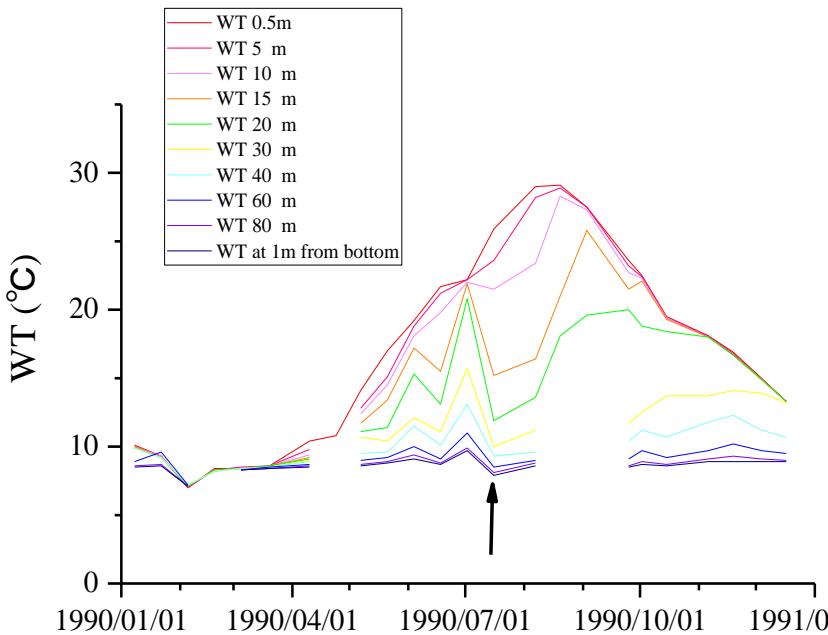
# 未解明な問題

- 日本海側の湖沼では水温上昇が明確には見られない。なぜか？
- 日本、アメリカの湖沼では夏、秋の水温上昇が大きいのに対して、ヨーロッパ湖沼では春の水温上昇が大きい。気温上昇の程度に対応している？なぜか？
- 水温上昇は、透明度の変化傾向に影響を受ける。透明度の変化傾向が見られる霞ヶ浦、琵琶湖、諏訪湖での水温変化傾向に違いがある。なぜか？

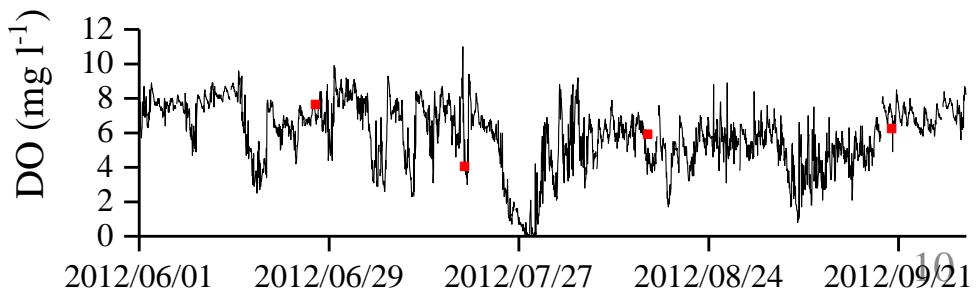
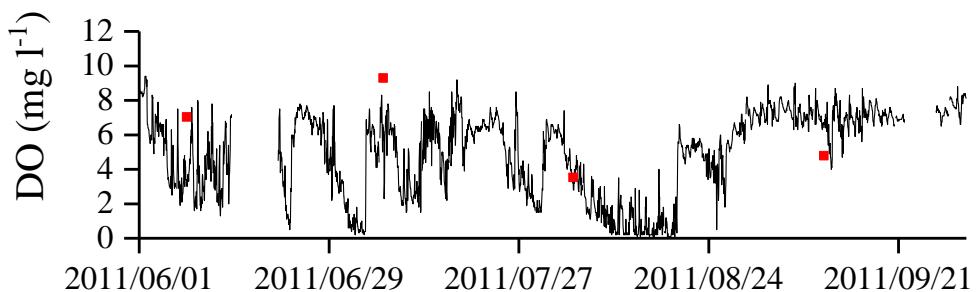
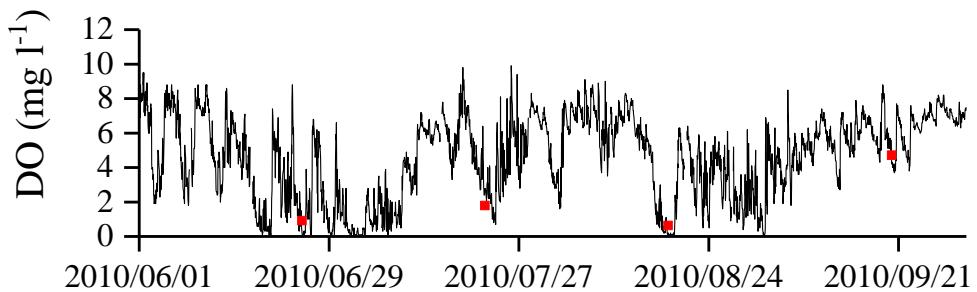
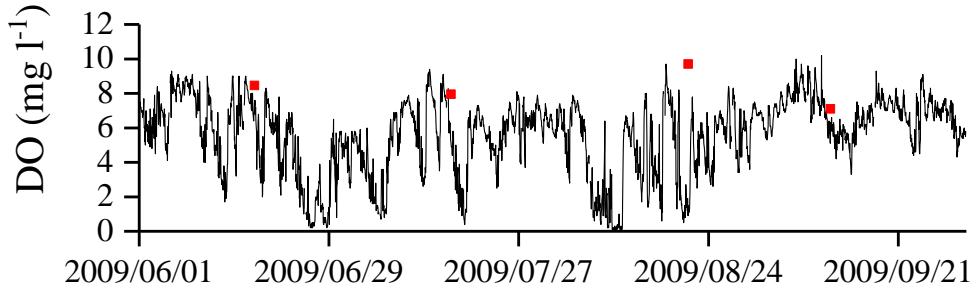
# 底層DO問題と湖沼間差

	最大水深	滞留時間	栄養度
琵琶湖	104 m	5 y	貧—中栄養
島地川ダム	60 m	1 y	中—富栄養
霞ヶ浦	7 m	0.6 y	富—超富栄養
インドネシア湖沼 Lakes Matano, Toba, Manjau, Singkarak	165.– 590 m	>10 y	貧—富栄養

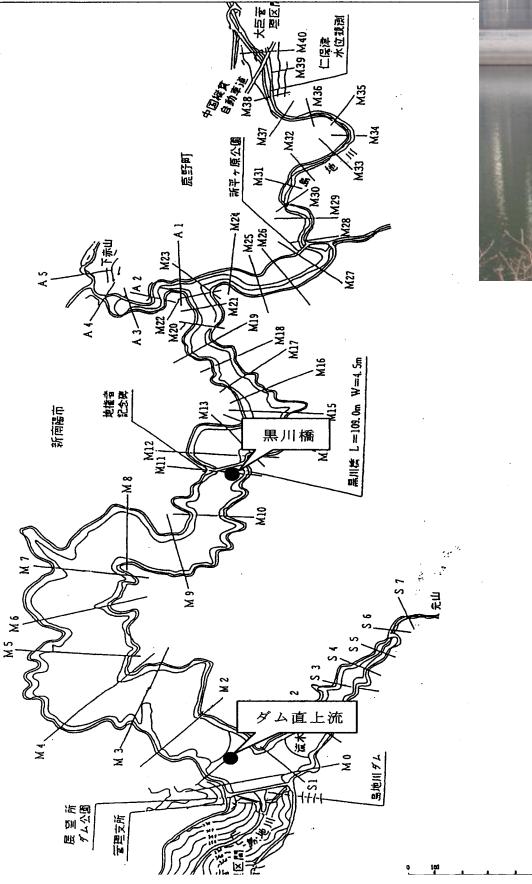
# 琵琶湖(今津沖)



# 霞ヶ浦釜谷沖 (水資源公団 自動観測)



# 島地川ダム



Dimensions of dam and reservoir

Dam height: 89 m

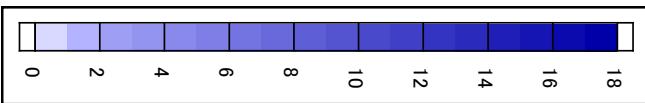
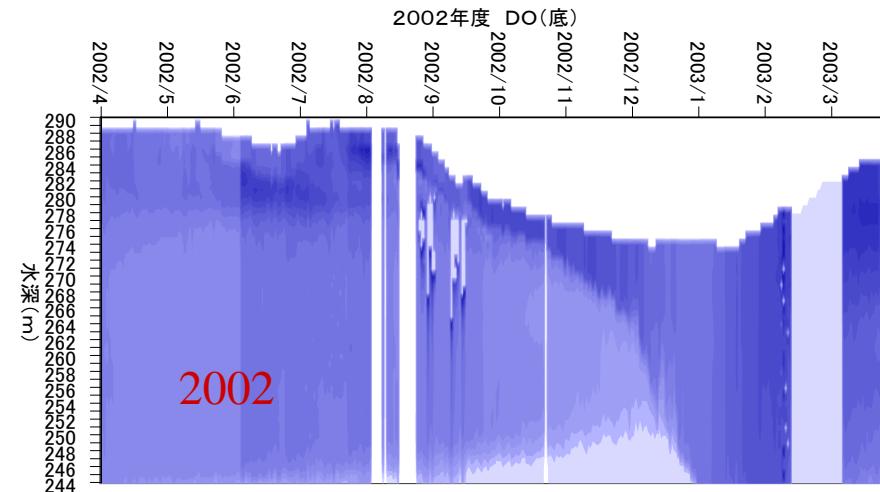
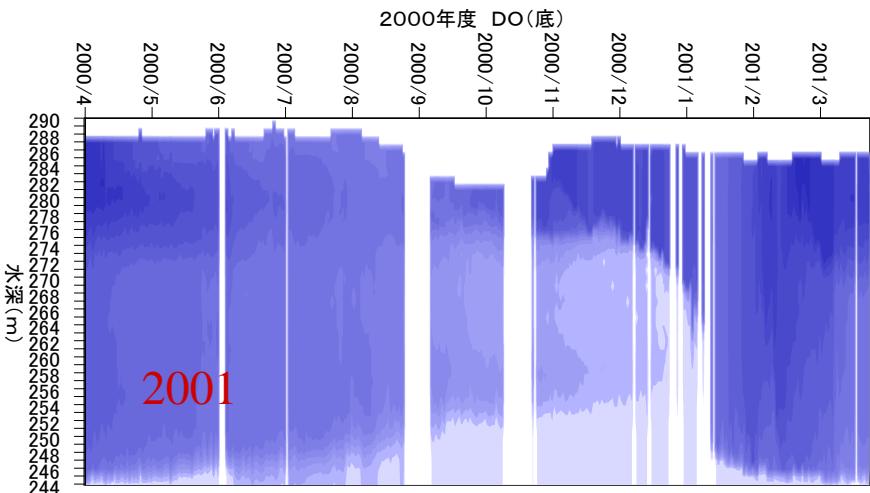
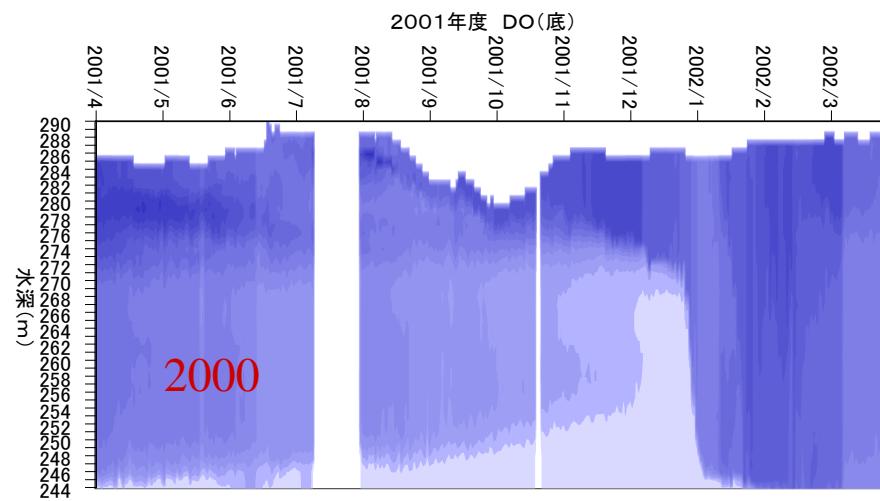
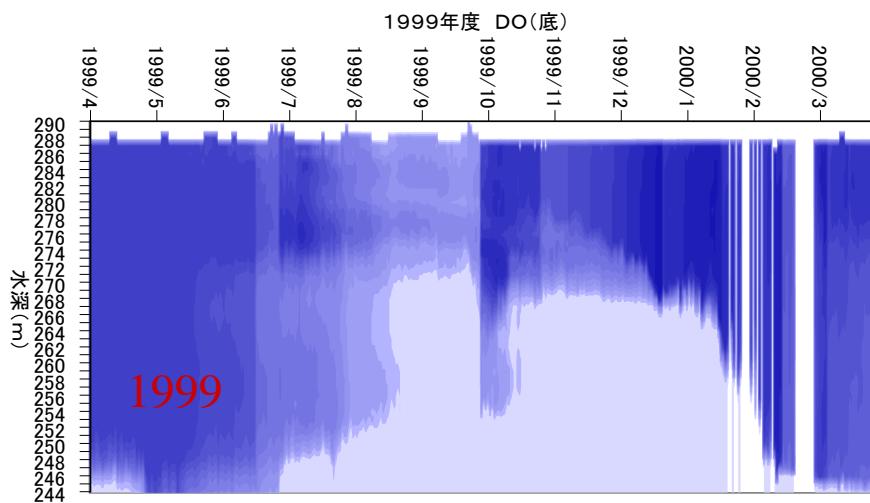
Dam length: 240 m

Reservoir area:  $0.80 \text{ km}^2$

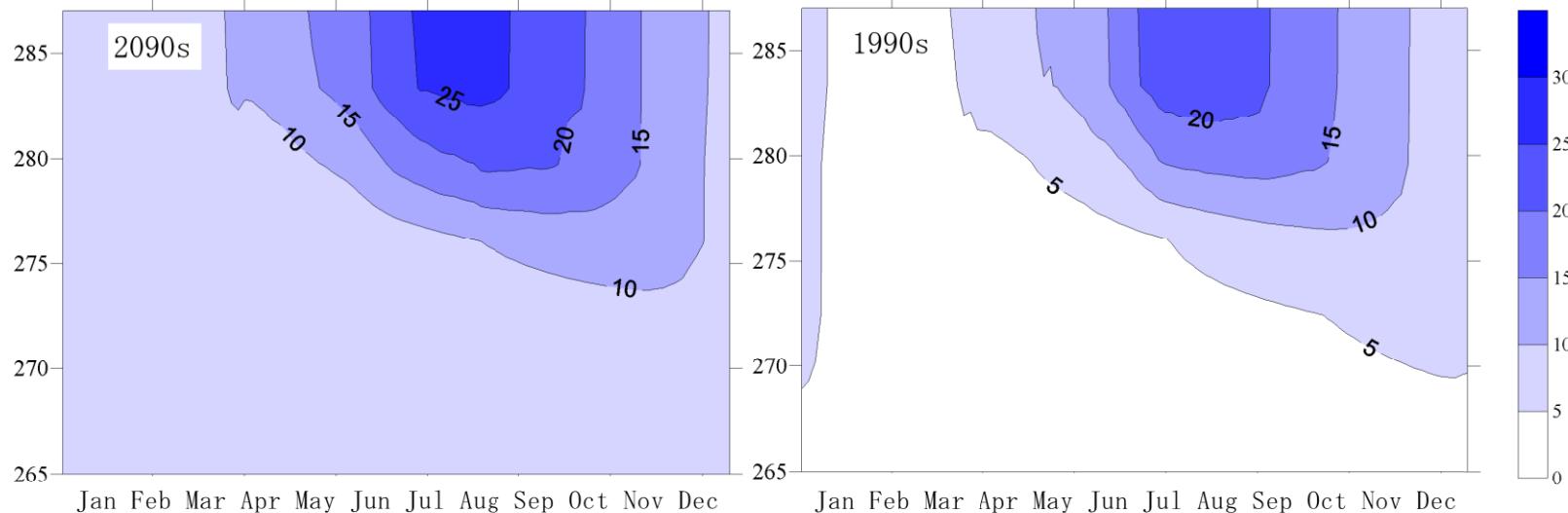
Watershed area:  $32.0 \text{ km}^2$

Reservoir water volume:  $21 \times 10^6 \text{ m}^3$

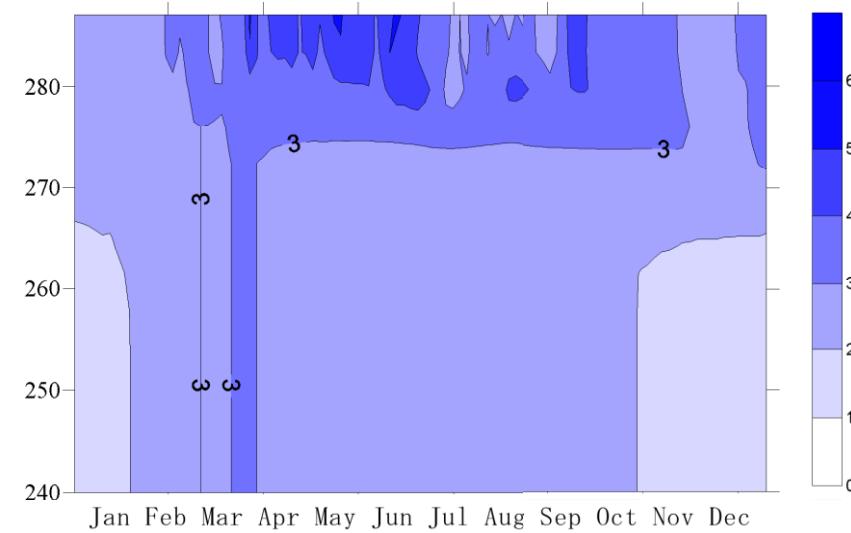
# 1.2.3 DO



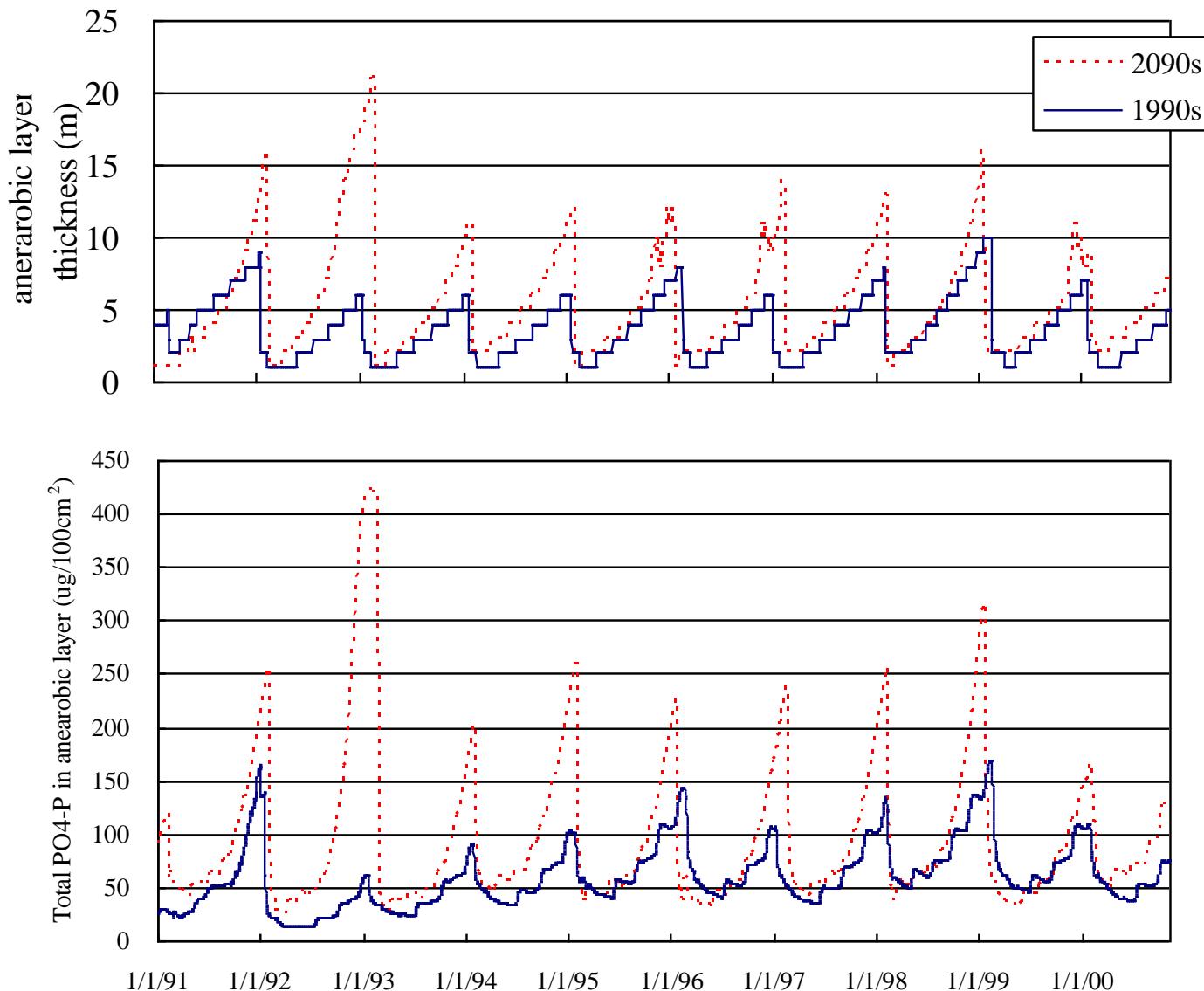
# 1.11 Influence on water temperature



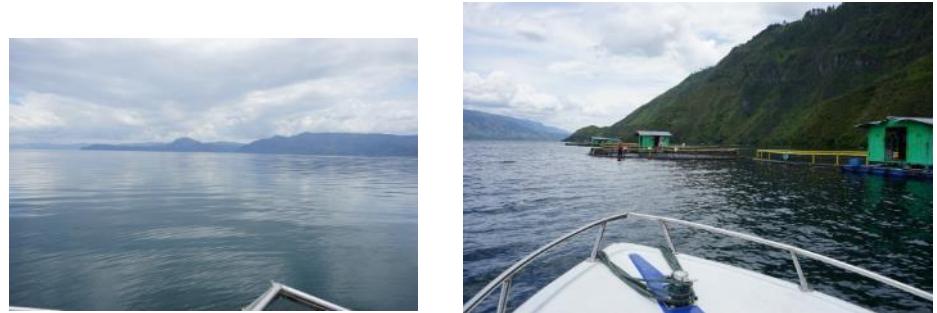
Difference between  
1990s and 2090s



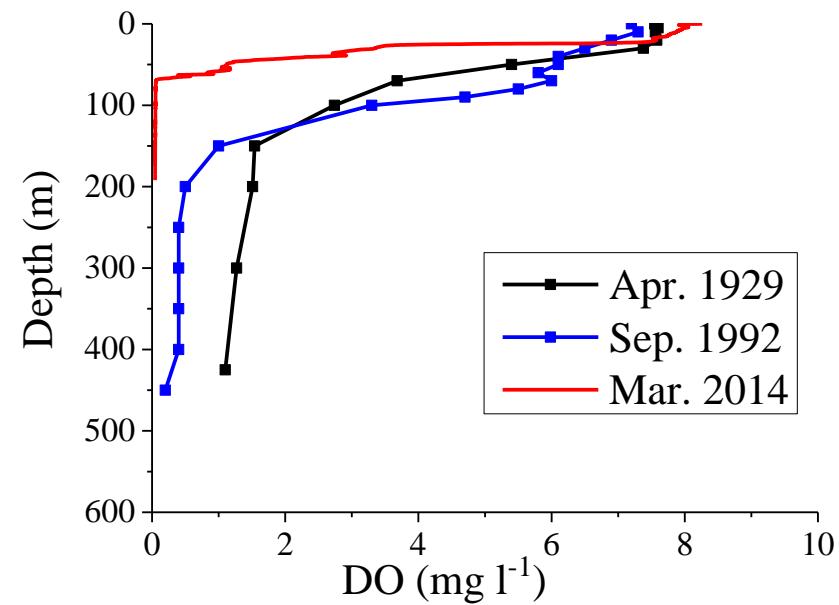
# 1.12 Influence on DO and PO<sub>4</sub>-P



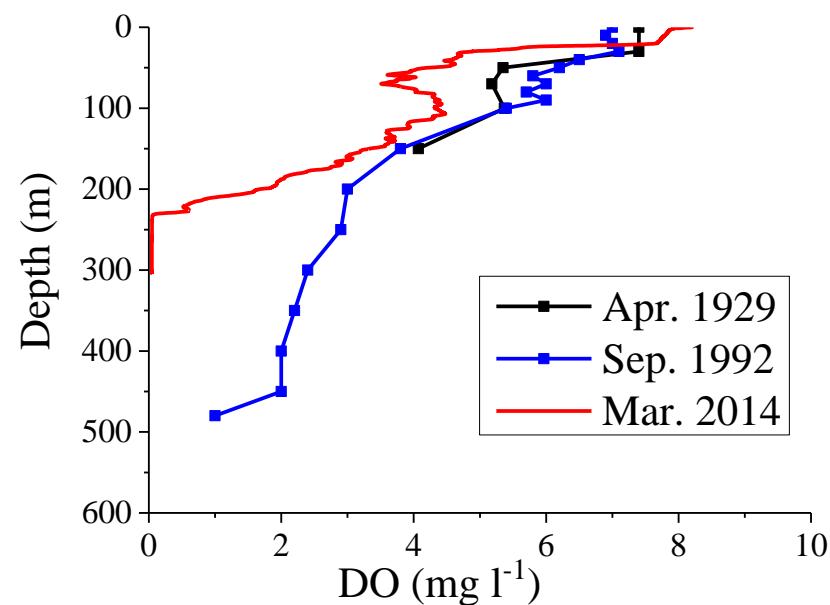
# Lake Toba (1230 km<sup>2</sup>, max 450 m)



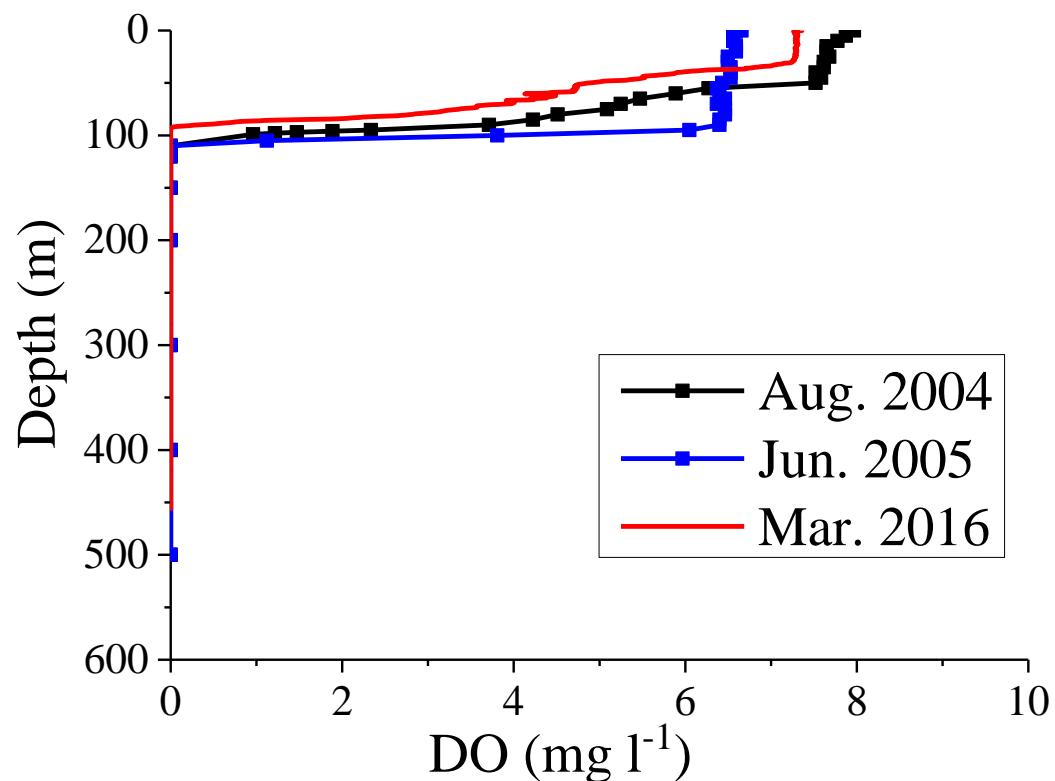
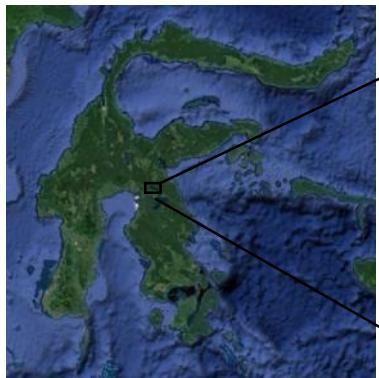
South Basin



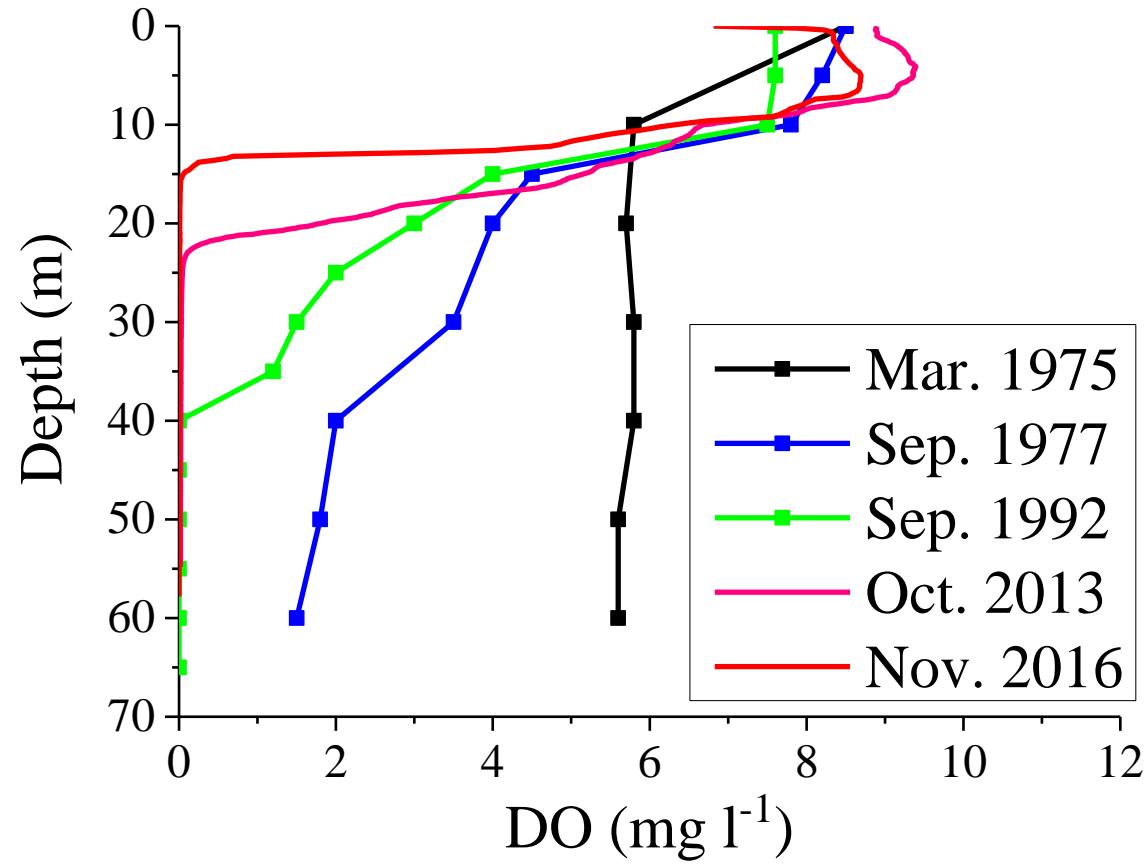
North Basin



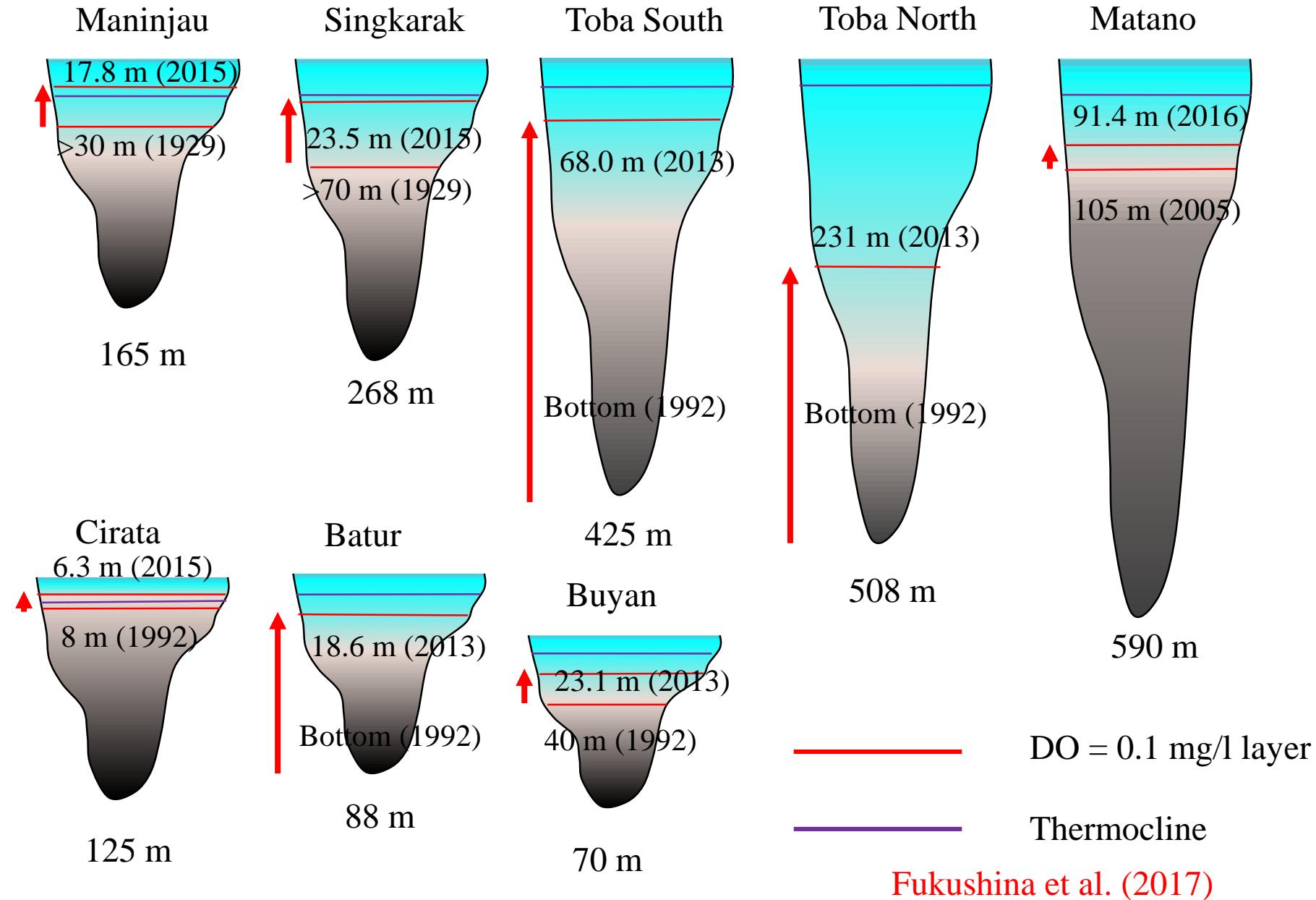
# Lake Matano (164 km<sup>2</sup>, max 590 m)



# Lake Buyan ( $3.7 \text{ km}^2$ , max 70 m)

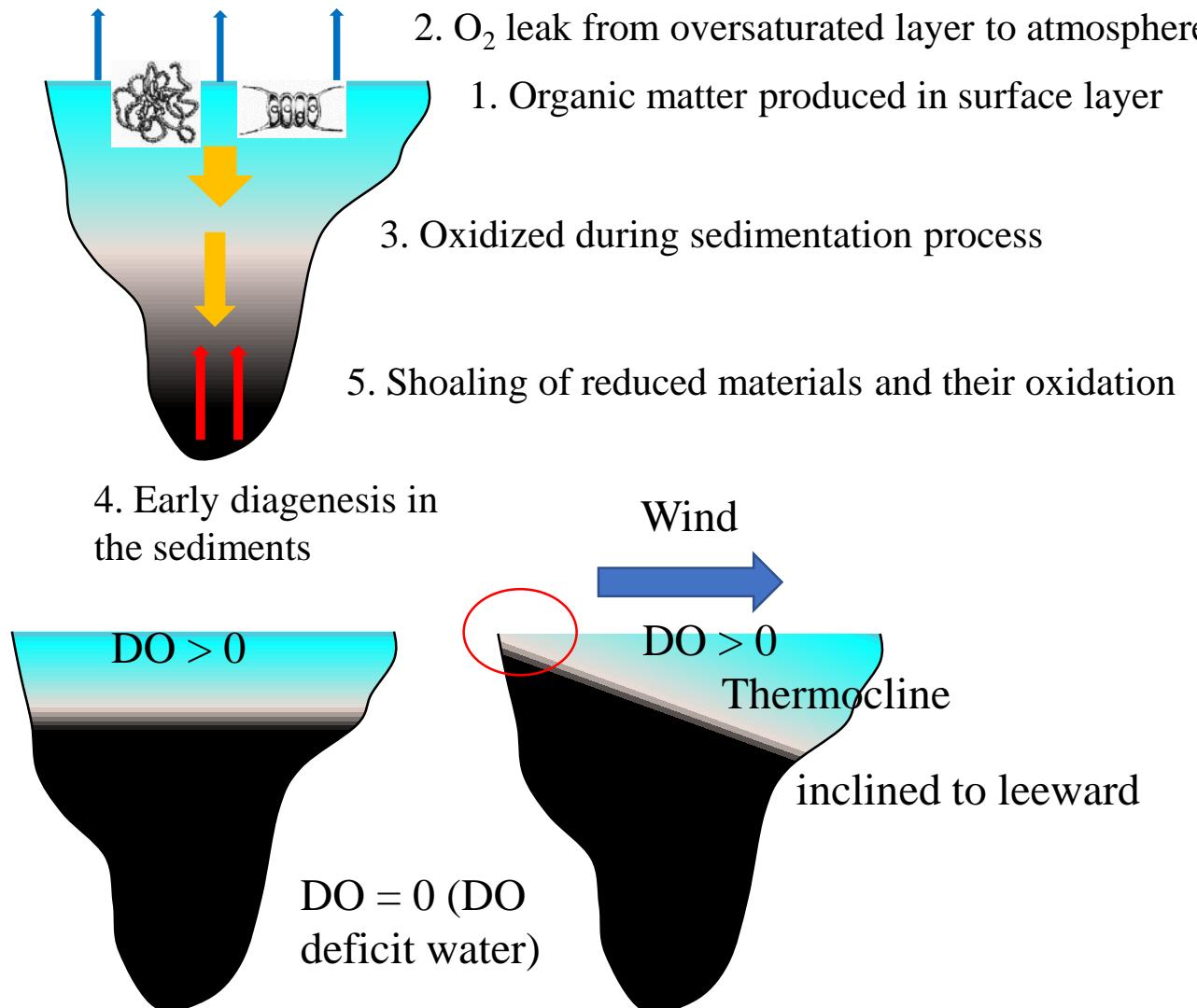


# *Shoaling of dissolved oxygen deficient waters*



# Causes and consequences

Fukushina et al. (2017)



Blowing of >10 m/s wind results in shoaling of DO deficient waters into surface layer e.g. in Lake Maninjau

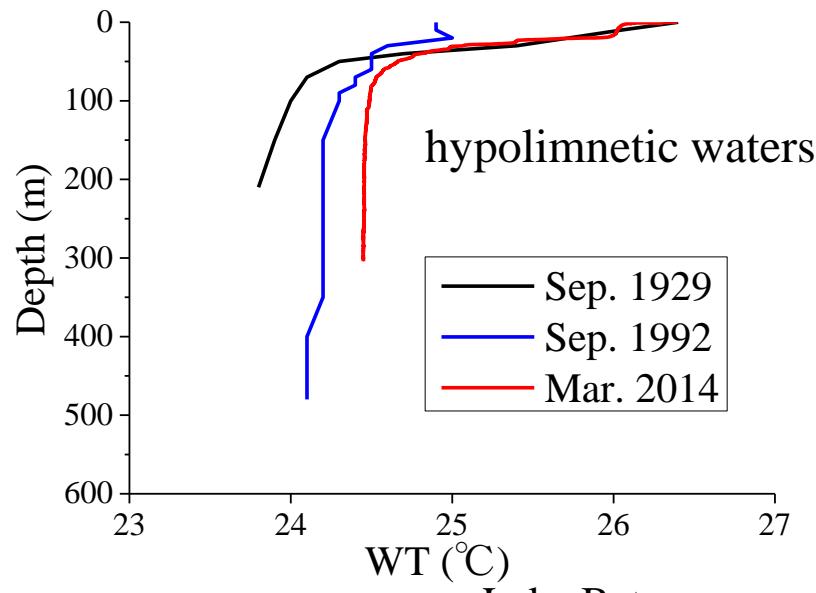
(Photos taken by LIPI)



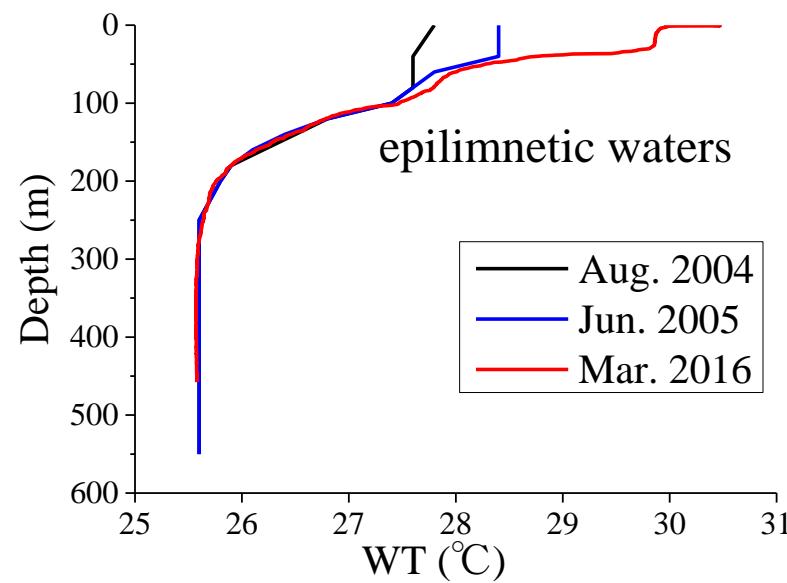
# Water temperature increase

Fukushina et al. (2017)

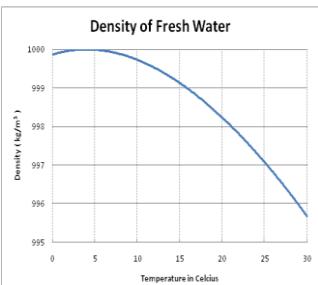
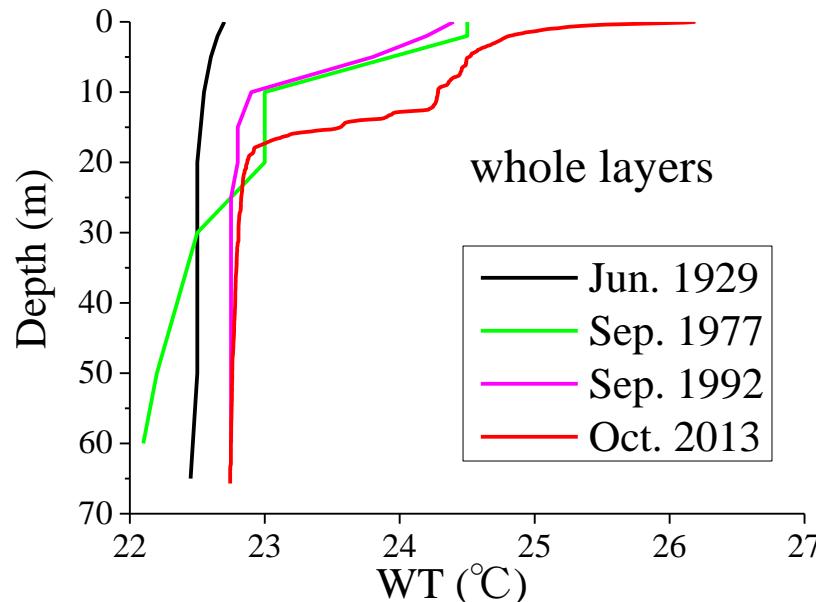
Lake Toba: North Basin



Lake Matano



Lake Batur



Increase in water temperature



Increase in DO consumption

Intensification of thermal stability

Eutrophication

# 霞ヶ浦セッションのキーワード

- 人と湖沼の共生
- 持続可能な生態系サービス
- 流域(内外)連携

過去から未来に、金銭評価、主体間の相互理解、レジリエントな生態系の特性を活かして

# 霞ヶ浦の生態系サービス



## ④基盤サービス

## ソンザイ

水や土壤、酸素、窒素やりんなどの栄養塩類など、生命の源や存在基盤になるとともに、光合成によって二酸化炭素と水から、有機物を合成し、それらの循環を通じて生態系を機能させます。

ココロ

## ③文化的サービス

信仰や慣習など、各地域の固有な文化は、生態系と深く結びついています。また、絵画などの芸術にも自然は強い影響を与えてています。

- ・帆引船などの観光資源
- ・水上スポーツ、釣り
- ・歴史的財産、食文化
- ・野鳥の生息場所 など

金銭評価、

## ①供給サービス

私たちの生活に必要不可欠な食料や水の供給機能があります。

- ・水道、農業、工業用水などの水資源
- ・ワカサギなどの水産資源 など

モノ

## ②調整サービス

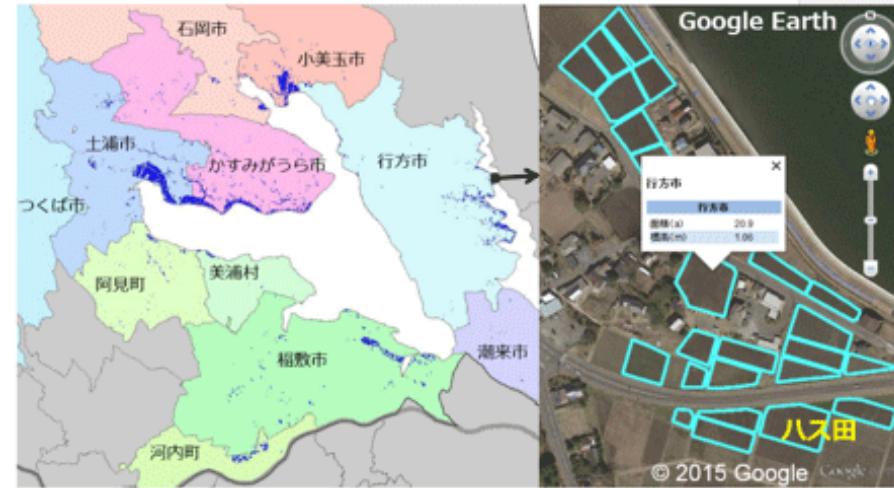
空気の浄化や植物による二酸化炭素の吸収により、気候を安定化する機能などがあります。

- ・気候の安定化
- ・水資源の安定化
- など

コト

# 霞ヶ浦沿岸部での生態系サービス (ハス田に注目して)

- 1,613 ha (2014)、44%は標高1 m以下に(農研機構ホームページより)
- 出荷量(推定)は19,000 t/年(野菜情報サイトより)
- 売上額(推定)は160億円/年(3,300円/4 kgとして)
- 力モ類による食害は1.6億円/年(土浦・かすみがうら市農作物鳥獣被害防止計画)
- 防鳥網で死亡する個体数は2000羽/年



(農研機構)



(松下)